

南海トラフ地震

調査研究プロジェクト

サブ課題2 地震防災情報創成研究

(d) 臨時情報発表時の
人々の行動意思決定に資する情報の提供

津波避難戦略 検討システム

逃げトレ View

自治体・地域社会の
津波避難ポテンシャルの分析にスマホアプリ
逃げトレで記録した
データを集積!津波避難訓練アプリ
逃げトレ

逃げトレ View とは

特許取得 第7513974号

逃げトレViewは、パーソナル津波避難訓練アプリ 逃げトレを使って、実際におこなった避難訓練データをもとに地域の避難リスクをマップ上に可視化、分析が可能な自治体向け津波避難戦略検討支援システムです。

逃げトレ

一人ひとりが実施



逃げトレ View

データをまとめて分析に活用

実施データ
←→
防災施策

ツール①：分析ダッシュボード

「逃げトレ」個々の実施データから、一人ひとりの避難の成否や移動時間、津波の再接近時間などをマップ上で見える化。

避難成功 / 失敗に基づく
データの分析データをマップとグラフで
確認 & フィルタリング

ツール②：津波避難行動タイムラプス

津波浸水アニメーションとスマホの GPS から得られる避難行動の軌跡の時間経過に伴った動きをマップ上で確認。

浸水域と避難者の動きが
タイムラプスで見える避難者の動きの
軌跡が見える

逃げトレ View 利活用の可能性 (例)

南海トラフ地震による津波避難への備え

非常に大きな揺れと津波による甚大な被害が想定されている、南海トラフ地震。

2024 年 8 月 8 日の日向灘の地震で、巨大地震発生のリスクが高まった時に発表される臨時情報（巨大地震注意）が初めて発表されました。

事前避難すべきかどうか、どこへ逃げたらよいのか、施設の営業を続けてよいのか、多くの人々が判断に迷いました。「逃げトレ」と「逃げトレ View」はこうした判断に役立つ情報を提供するツールです。

事前避難
すべき？どこに
逃げる？施設を営業
できないの？

津波が危険なエリアの...

地域住民の
津波避難訓練実施
避難計画策定地域での探求学習
防災意識・行動の
アップデート大規模イベント
実施時災害対応公共施設
観光施設
(レジャー・宿泊)
災害対応交通事業者
小売サービス事業者
災害対応

地域の減災・災害対応力向上

- 発災時の安全確保行動 / 臨時情報を受けての事前避難
- 住民・利用者・スタッフの安全確保（避難計画・誘導計画）
- BCP（事業継続計画）/ 安全安心 PR

宮崎市 青島地区での活用事例

逃げトレViewを用いてより安全な避難経路を発見！ 対策の必要性が浮き彫りに



逃げトレを用いた避難訓練実施の様子



逃げトレViewをふまえた議論・発表



津波避難行動タイムラプスで避難経路を分析

訓練直後に日向灘の地震が発生！ 訓練を活かし迅速に率先避難



逃げトレを使った避難訓練を実施

訓練後、実際に地震が発生し津波注意報が発表された

翌日、実際の避難について振り返る会を実施

参加者：地元の高校生 10名

この事例では、青島地区で高校生 10 名が集団避難訓練を実施し、その後、逃げトレ View を使って避難行動の軌跡や津波浸水エリアを確認。その結果、多くの人が選択している避難ルートは、浸水が早い箇所があり危険であることが分かり、より安全に避難を行えるルートを発見することができました。

逃げトレ View を使った避難の振り返り・データ分析により、避難ルートの見直し・整備、さらにその経路へ避難を誘導するためのサインの計画の必要性が浮き彫りになりました。

参加者：地元の高校生と教員

2024 年 8 月 8 日 青島地区で逃げトレと逃げトレViewを活用した集団避難訓練と防災学習プログラムを実施。その直後、実際に日向灘の地震が発生し津波注意報が発表されました。直前の避難トレーニングでの学びを活かし、参加者の高校生と教員は、迅速に率先避難を行うことができました。

今回の避難トレーニングと同年 2 月に行った逃げトレ・逃げトレViewを使った学習の成果が、迅速な避難につながったという手応えを参加者から聞くことができ、逃げトレサービスを用いた津波避難行動に対する高い学習効果が示されました。